

## 2025年5月18日 復活節第五主日礼拝説教

### 「愛は受けて流れるもの」(ヨハネ13章31～35節)

#### ○ヨハネ13章31節のみことば

「さて、ユダが出て行くと、イエスは言われた。『今や、人の子は栄光を受けた。』」

\*栄光：神が降りて来られ、みわざを現わされること

救い主イエスは、ユダが裏切りのため出て行った時、「神の栄光を受けた」と仰ったけれども、ユダと彼に続く人々もたらす十字架のうちに、神の輝かしき訪れはなかった。

☞十字架で苦しむイエスに、光は届かず、上からの助けも来ることなく、御声も響かなかつたが、神は、死に向かうキリストを御心にとめ、救いの〈みわざ〉を起こされる。

※十字架のうちに示された神の隠れたる栄光を仰ぎ見よ。

「わたしが行く所にあなたたちは来ることができない」(33節)

☆神は、ご自身の厳しさと恐ろしさを現わす〈十字架〉から弟子たちを離れさせ、イエスだけに死の道を備えられた。

#### 今日のみことば：ヨハネ13章34節

「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」

\*愛：神の赦しを人に与えるため、自らのものを差し出す。

キリストは、わたしたちにも、こう呼びかけられるのでは。

「あなたを愛した〈わが愛〉を知り、互いに赦しを受けるため、わたしが、あなたに与えたものを献げ合いなさい」と。

#### ○Iヨハネ3章16節のみことば

「イエスは、わたしたちのために、命を捨ててくださいました。そのことによって、わたしたちは愛を知りました。」

十字架で命を捨てたイエスが、わたしたちに成されたことを聞き続けると、この方の〈あなた〉への愛が分かってくる。

※十字架を仰ぎ見て、神の深き愛を心に刻み、上から受けるよきものが、あなたをとおして流れ出ていくように。